

中小企業の福利厚生を
目的に会議所共済を運営

アクサ生命保険(株)の前身会社である日本団体生命は、全国産業団体連合会(現在の日経連)と日本商工会議所が設立母体となり、日本で初めての団体保険の専門会社として昭和9年に設立されました。

創業時の初代取締役会長・郷誠之助は、当時の全産連の会長であり、日本商工会議所の会頭を兼務していました。

その後、大企業中心であった団体保険は、中小企業の福利厚生制度の普及・拡充を目的に商工会議所共済制度として発展・発足し、当社は引受保険会社として貢献させていただきました。

おかげ様で、商工会議所共済制度は今年、発足50周年を迎えました。

商工会議所共済制度は、アクサ生命保険(株)の主たる社業であり、また商工会議所とはますます強固な関係となつていきます。

共済制度推進員が
健康経営アドバイザーに

商工会議所会員事業所を最大の顧客とするアクサ生命保険(株)は、わが国の状況を社会的課題ととらえ、中小企業の「健康経営」実践を幅広く支援し、中小企業の生産性向上と持続的な発展に貢献すべく、様々な取り組みを進めてまいりました。

そして、中小企業向けに「健康経営」を普及推進する目的で国策に基づき創設された「健康経営アドバイザー制度」では、その資格創設に参画する機会を得るなど、中小企業向け「健康経営」政策の立ち上げにも関わってまいりました。

そして現在、アクサ生命保険(株)のほとんどの社員が「健康経営アドバイザー」資格を取得し、全国の商工会議所と連携し、会員事業所への訪問活動のなかで「健康経営」導入支援を進めています。

この活動は、中小企業の事業の発展を通じて地域社会の活性化に寄与し、健康寿命の延伸にも貢献するものであり、企業市民としての責任を果たす取り組みとして、引き続き全社を挙げて推進してまいります。

専門家と連携して
健康経営を会員事業所に案内

アクサ生命保険(株)は、静岡県下全15商工会議所で商工会議所共済制度の引受業務を行っております。会員事業所を訪問する共済制度推進員約120名は、「健康経営アドバイザー」資格を取得して、商工会議所共済制度のご案内・メンテナンスの訪問をさせていただく際に、「健康経営」を会員事業所の皆様にご案内すべく取り組みを進めています。

具体的には、中小企業の経営者の方々

に「健康経営」の普及啓発を行い、経営者に社員の健康づくりを「経営課題」として認識いただき、取り組みを一歩踏み出していたたく支援を行っています。

高度な指導は、専門家(保健師・社会保険労務士等)と連携いたします。また、健康づくりは継続することが大事なことです。経営者・社員の皆様に継続的な動機づけを行います。

「健康経営」の取り組みは、実はあまり難しくありません。当社では「健康経営」に踏み出していただきやすいように、「健康宣言」「健康診断の受診」「健康診断結果の活用」「職場環境づくり」など、お金を掛けなくてもはじめられる取り組みをご案内しています。仕事の動線に取り入れて無理をせず。

先に実施するなど、スモールチェンジから始めていただくのがコツです。

当社は、旧日本団体生命の創業以来、中小企業様および商工会議所様と共に歩んできました。今後も中小企業様の発展はアクサ生命保険(株)の「使命」であるという基本理念のもと、「健康経営」を支援いたします。

ぜひともアクサ生命保険(株)の共済制度推進員(「健康経営アドバイザー」)に「健康経営」のサポートについて、お声掛けください。

連絡先・アクサ生命保険(株)静岡支社
静岡市葵区黒金町20・8
静岡商工会議所静岡事務所会館3階
電話054・254・8712

健康経営の実践

- ➔ 健康経営は単なる健康づくりではなく経営課題として取り組む必要があります。
- ➔ 一方で、取り組みは決して難しくありません。

ご案内内容の基本的コンセプト

- 1 お金を掛けなくてもはじめられます。
- 2 スモールチェンジからはじめましょう。
- 3 仕事の動線に取り入れ無理なく実施しましょう。

健康宣言

健診結果の活用

健康診断の受診

職場環境づくり

